農学部

外国語選択ガイド

【外国語科目について】

〇農学部では、以下のとおり外国語科目が設置されています。
　第一外国語･･･「英語」
　第二外国語･･･「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「スペイン語」

〇第一外国語の「英語」は必修科目です。

〇第二外国語は上記４言語のうち１言語が必修科目です。いずれかの言語のⅠa、Ⅰb、Ⅱa、Ⅱbの計４科目を１年次に履修します（春学期、秋学期ともに週に２科目）。

〇各第二外国語には、定員が設けられています（各言語とも定員数は同じです）。定員を超える希望者がいた場合には、抽選により履修者を決定しますので、第二外国語の選択にあたっては、**必ず第三希望まで選択してください。**昨今の傾向として、中国語を第一希望に選択する学生が増えています。中国語を第一希望とした場合には抽選となる可能性が高いことをご承知おき下さい（その他の言語では例年、概ね第一希望の語学を履修できています）。なお抽選により第一希望の言語から漏れた場合でも、農学部設置の外国語科目の他に「学部間共通外国語講座」が開講されていますので、こちらで希望の言語を学習することもできます。

〇第二外国語の検定試験を入学後に受験し、合格することで、必修科目への単位の振替も可能です。制度の詳細は、入学時に配布される「農学部便覧」でご確認ください。

〇上記の４つの第二外国語の間に、極端な難易度の差はありません。裏面に記載の各言語の特徴なども参考に、各自の興味関心に応じて、希望の言語を選択して下さい。

〇第二外国語の必修科目は、新しい言語の学びを通して多様な価値観やものの見方を養うことを目的としており、いずれも原則的に初修者が対象です。そのため、**上記４つの第二外国語のなかに、母語またはそれに準じるレベルに達している言語が含まれる場合、それ以外の未習の言語を選択して下さい。**但し、既に高校などでこれらの言語を外国語として学んだ学生は、各第二外国語のⅢ（中級クラス）を履修することで必修科目の単位に振り替えることも可能ですので、希望する学生は農学部事務室にお問い合わせください。

〇入学手続時に届け出た第二外国語の変更は認められません。

【第二外国語希望順位の入力方法】

希望する外国語を第一希望から第三希望まで決定しましたら、ＵＣＡＲＯの「本人情報」から入力してください。なお、ＵＣＡＲＯは手続を開始してから 30 分以上操作しない場合、自動的にタイムアウトになりますので、注意してください。

第二外国語選択科目名

ドイツ語	フランス語	中国語	スペイン語

【問い合わせ先】明治大学教務事務部　農学部事務室
TEL　044-934-7571

（次頁に続く）

農学部で開講している第二外国語の特徴

【ドイツ語】

EU で最大の話者人口（約１億人）を擁するドイツ語は、ドイツの他、オーストリアやスイスの一部などでも話されています。日独の関係も深く、既に江戸時代にドイツ人医師ケンペルやシーボルトが来日するなど、約 400 年にわたる交流が行われた結果、アルバイト（Arbeit）やバウムクーヘン（Baumkuchen）など多くの単語が私たちの生活に根付いています。また世界有数の環境先進国ドイツ、多民族国家だった歴史を持つオーストリア、４つの公用語を持つ永世中立国スイスなど、ドイツ語圏の多様な社会から学ぶべきことも多くあります。各学科とも、同一の教科書を２名の教員がリレーする形で授業を進め、文法の習得や文章の読解、会話練習に加え、ドイツ語圏の歴史や文化も学んでいきます。

【フランス語】

フランス語は、フランス、ベルギー、スイス等欧州諸国をはじめ、アフリカ諸国、北米ではカナダ等、世界で約２億の人々が母語または共通言語として使用しています。国際連合、国際オリンピック委員会、FIFA 等で公用語とされていることからも、英語に次いで世界で最も使用頻度の高い言語の１つだといえるでしょう。週２回の授業では、フランス語のしくみ（文法）を知ると同時に日常的な表現を習得します。それを基礎に簡単な文を理解し、自分と身近な世界について話せるようになることが１年次の目標となります。また、フランス語圏のメディア、映画、文学、絵画等を通しこの言語の背景となる多様な文化に触れる機会も提供されます。

【中国語】

これまで日本は欧米ばかりに目を向け近隣アジアを軽視してきた、という考えは、もはや時代遅れになっているといえます。日本人はアジアの一員でありながら、意外なほどアジアを知らずに過ごしてきましたが、現在特に中国が世界の中で占める役割の重要さは、みなさんのよく知るところです。今、盛んな日中交流の中で、中国語に熟達した人材が強く求められています。授業では、基礎的な中国語を習得すると共に、中国やアジアにより深い理解と洞察力をもつ人間を育成することを目標にしています。

【スペイン語】

スペイン語は、スペインを始めラテンアメリカ諸国等で４億人余りが話している言語です。授業では、初めてスペイン語に触れる人を対象に、まず、英語とは少し異なる文字と発音の学習から始め、スペイン語で最低限の意志を伝える、ある程度のコミュニケーションを成立させる、という段階を経て、自分の感情や身近な事柄の表現もできるように、さらにはスペイン語圏の文化背景についても紹介します。スペイン語圏を旅する際、人と知り合い、自分のことを話し相手の話を聞けるようになること、辞書を片手に初歩的な文章の読解ができるようになることを目指します。